

令和4年度 いのちの授業 事例集（高校）【保健体育】

掲載数

65

管轄	学年	教科等	テーマ	内容	参考事項（講師・教材等）
1 神奈川県立	高1	保健体育	現代社会と健康	保健編 第1章「現代社会と健康」において、日本における健康課題を示し、それらへの対策について学ばせ、個人の取り組みやそれを支える社会環境などから健康な生活を送るための解決策を考える。	
2 神奈川県立	高2	保健体育	保健 2 単元 生涯を通じる健康 家族計画と人工 妊娠中絶	家族計画の意義と避妊法、人工妊娠中絶という選択肢も世の中にあるということを理解する。望まれて生まれてくる命を誕生させるためには、どのような準備や環境が必要なのかを考えた。また、世の中には人工妊娠中絶によって命が途絶えてしまうこともあるという事例を元にどう感じるか記述した。	大修館 現代高等保健体育
3 神奈川県立	高2	保健体育	保健 3 単元 生涯を通じる健康 妊娠・出産と健康	受精から出産までの仕組みと命の尊さを中心に授業を展開した。出産まで女性の身体ではどのようなことが起こり命が誕生するのか、また奇跡の重なり合いで命は誕生しているということを理解し、自身で考え、他者の考えを共有した。	大修館 現代高等保健体育
4 神奈川県立	高2	保健体育	応急手当	食中毒による死亡事故を授業で取り上げ、予防や対処について考えた。原因となる菌の種類と、その発生原因や飲食に至るまでの経路を分析し、予防策を話し合わせた。また、食中毒で倒れた時の応急的な対処法にも触れることで、実際に食中毒に遭遇した時の迅速な行動力も身につかせた。	保健体育教諭 「現代高等保健体育」 (教科書)
5 神奈川県立	高1	保健体育	心肺蘇生法	心肺蘇生法について取り上げた。この単元に入る前に生徒たちへ“目の前に人が倒れている状況に遭遇したらどうするか”という問いかけをしたところ「救急車を呼んだりAEDを準備しなければいけないのは分かるが、その間に何をすればよいか分からない」「なんとなくのイメージしかないため行動を起こす自信がない」といった意見が多数だった。そこで、まず座学で心肺蘇生法の手順を説明した。基本の知識が身についたところでダミー人形を相手にした実習に移った。段階を踏んだ指導のため、互いにアドバイスをするなど非常にスムーズ良く実習に取り組んでいる様子が伺えた。また、この単元を学ぶ意義を授業開始時に欠かさず伝え続けたことにより実習に対する意欲や集中力が途切れることなく取り組むことができたと考える。	【参考資料】心肺蘇生法とAEDの取り扱い (ガイドライン2015対応)
6 神奈川県立	高2	保健体育	妊娠・出産と健康 家族計画と人工 妊娠中絶	受精・妊娠・出産とそれに伴う健康課題についての内容及び家族計画の意義や人工妊娠中絶の心身への影響などについて知識及び理解を深めさせた。	現代高等保健体育 現代高等保健体育ノート

7	神奈川県立	高1	保健体育	交通事故から命を守る	交通事故の事例を映像で確認し加害者の法的責任の重さを学ぶとともに、どのような行動の工夫が、交通事故の加害者ならびに被害者になることを防ぎ、命を守ることに繋がるか、グループでディスカッションを行った。	講師は本校教諭。 教材は自主作成教材を使用した。
8	神奈川県立	高1	保健体育	交通事故	過去の高校生の交通事故死の話をし、自分が交通違反をしていなくても事故死につながる可能性があることを説明し、自分の命を守るためにも歩きスマホをしない、周囲を常に見渡しておくこと等を伝えた。(実際に事故現場を目撃し、通りかかった救急救命士の話の踏まえ)	
9	神奈川県立	高1	保健体育	がんの治療と回復	現在、我が国は、日本人の2人に1人ががんになり、男性の3人に1人、女性の4人に1人ががんが原因でなくなることが現実である。この高確率で死を考えざるを得ない疾病について、特に、緩和ケアについて学ぶことにより、患者自身及びその家族1人ひとりの『生活の質』について考える機会とする。生あるものは必ず死を迎えるものであることを直視しつつ、人生を満足感を持って終えるためには、何が必要かを学ぶ。	「05 がんの治療と回復」教科書『現代高等保健体育』大修館書店
10	神奈川県立	高1	保健体育	応急手当・心肺蘇生法「事故や急病から命を守る」	大きな災害や事故に遭遇した時に適切に対処しなければ傷病者の死亡率はどんどん高くなってしまいます。そういった状況に遭遇した時に命を救うことができるように応急手当の意義や心肺蘇生の方法について学習し、命を救うことの難しさや大切さについて指導した。	AEDのデモ機を使用する
11	神奈川県立	高2	保健体育	生涯を通じる健康「家族計画と人工妊娠中絶」	「一度なら妊娠しない、自分は大丈夫」と考え不適切な避妊法を実践する生徒たちに対して、自身の家族計画だけではなく関連していることにも触れ、自身の行動を改めて考え直し、妊娠予防に対してきっかけを与えることを意図した。正しい避妊法や妊娠についての知識を身に付けるだけではなく、生徒は妊娠をめぐる場面設定をしたうえでペアワークに取り組み、自分と他者の視点から考えを考察した。身近な話題であったということもあり、ペアワークの内容を発表した際、話す生徒のみでなく聞く生徒も関心を持って取り組んだ。	参考資料 ・セイシル ・ワンストップ支援センター ・厚生労働省「緊急避妊に係る取り組みについて」
12	神奈川県立	高1	保健体育	心肺蘇生法	近年多く見られる自然災害や不慮の事故などいっどこで傷病者を助けることになるかわからない日常がある。そこで自らの判断や行動で1人の命を救うことができるかもしれない。そのような考え方や技能を身に付けてもらうための授業を行った。最初は恥ずかしさや知識がなくふざけてしまう様子があったが、最終的には自分の身近な人にもしものことがあった時を想定して真剣に取り組む姿勢が見られた。	保健体育の教員練習用AED人形
13	神奈川県立	高2	保健体育	妊娠・出産と健康	「生涯を通じる健康」の単元において、妊娠・出産と健康についての学習を行った。録画したテレビ番組の映像を教材として使用し、母体における心身の健康状態が胎児に与える影響や、マタニティブルーなどについて生徒が考える契機とした。また、母子健康手帳についても扱い、いのちを守る行政からのサービスについても知識を深めた。	教科書および映像教材を使用

14	神奈川県立	高1	保健体育	心肺蘇生法	日常生活の中で、いつどこで必要になるかわからない心肺蘇生法について、座学で知識を学ぶとともに、実際に胸骨圧迫をテニスボールを活用して実施することで、いざという場面で行動できるようにする。	教科書『新高等保健体育』(大修館)
15	神奈川県立	高1	保健体育	心肺蘇生法	近年大きな災害が多く発生しているため、災害時に自分たちにできることの一つとして、心肺蘇生の意義や手順、方法などについて考え、実習を通して自ら積極的に実践できるように行っている。地域の消防署や消防団に協力を得て、緊張感をもたせつつ武道場にてダミー人形15体を使い、全生徒が緊急時に実際に行えるよう取り組んでいる。本校では1年次で全生徒が行うことで、全校生徒が人の「いのち」を救うために、自分たちができる方法を習得することができている。 例年上記のように5月に実施しているが、今年度はコロナ禍により6、7月に保健体育の授業内で実技実習を除いて学習した。	(都筑消防署) (川和消防署) (地域消防団) 図解 みんなの救急
16	神奈川県立	高2	保健体育	妊娠・出産と健康	命の誕生までの過程、人工妊娠中絶について、母子健康手帳が「命のパスポート」として世界的に普及していることなどを説明し、命の尊さやそれを守るための様々な取り組みについて考える活動を行った。	教科書 教員が作成したスライドとプリント
17	神奈川県立	高2	保健体育	生涯を通じる健康	左記の単元の中の『思春期と健康』『性意識と性行動の選択』『結婚生活と健康』『妊娠・出産と健康』『家族計画と人工妊娠中絶』を1学期に取り扱った。生徒に自身のこととして、またそう遠くない将来に起こり得る事象として捉えさせるような授業展開とした。	教科担当者 大修館『現代高等保健体育』
18	神奈川県立	高1	保健体育	心肺蘇生法	保健の授業で下田ライフセービングクラブの方々をお招きして、命に係わるような事例や、実際の現場の活動、一般人の我々ができることなどを御講演いただき、心肺蘇生法を体験し、圧迫の強さや一定のテンポで心肺蘇生を行う難しさや体力が必要とされることに驚く様子が見られた。	下田ライフセービングクラブによる講習会
19	神奈川県立	高2	保健体育	臓器移植について	6歳未満の子どもへの臓器移植についての新聞記事を示し、自分はどう考えるかを記述させた。 その後、グループで各自の考えを共有させた。	保健の授業で教員が指導 9月11日の京都新聞「6歳未満男児が脳死愛知の病院、心臓移植」の記事使用
20	神奈川県立	高複合	保健体育	心肺蘇生法・AEDの使い方の実践	レポートでは、応急手当や心肺蘇生法の方法や手順を知識として身に付けられるように課題に取り組むことができる。 実習では、応急手当の意義を考え、いざ自分自身が当事者となった時に行動できるように、実習を通して学ぶ場面を設定した。ダミー人形を使い、胸骨圧迫は意外と体力が必要であることに気づき、一人で対処するのではなく救援を呼びかけ複数人で心肺蘇生法を実施することの大切さも学べた。	

21	神奈川県立	高2	保健体育	妊娠・出産・人工妊娠中絶	・妊娠中の母体の変化、胎児の成長の過程を学び、生命の誕生についての考えを深めた。また、家族計画の必要性についても考え、避妊の必要性についても知識を身に付けた。 ・人工妊娠中絶が女性の心と体に与える影響を考えた。自己や他者の命についても深く考え、考えを共有している姿が見られた。	最新高等学校保健体育
22	神奈川県立	高2	保健体育	・思春期と健康 ・妊娠・出産と健康	思春期による体や性機能の発達段階、妊娠・出産までの過程について学習し、その健康課題や保健サービスを理解することにより、適切な行動選択ができるようにすることを目標に授業を行った。また、命が誕生するまでにはさまざまな困難や継続的な胎児と母体の健康状態の観察・維持が大切なことについて学習し、命の大切さについて考えさせた。	現代高等保健体育 教科書
23	神奈川県立	高2	保健体育	①思春期と健康 ②結婚生活と健康	①②個人および社会生活における健康・安全について理解を深める保健の学習の中でも、新しい命を生み、育む単元として計画的に学習活動を行った。 教員による指導、生徒同士での意見交換等により、妊娠から出産に至るメカニズムを正確に知るとともに、計画的な家族計画の在り方を学ぶ機会となった。	教材：「最新高等保健体育 改訂版」、学習プリント
24	神奈川県立	高1	保健体育	現代の感染症	近年新型コロナウイルスの感染が拡大している背景があり、死亡者も多数出ている。授業の中でくしゃみや咳、会話等がどのくらい飛沫しているのかを分かりやすくした動画を視聴した。 自らを感染症から守るためにどういった対策ができるかをグループワークで考え、意見をまとめてグループごとに共有し、学んでいた。	現代高等保健体育
25	神奈川県立	高2	保健体育	人工妊娠中絶	保健分野の単元「家族計画と人工妊娠中絶」において、命の尊さについての学習を行った。生徒たちに、中絶という新しい命の芽をつむ行為をさせないためにどのような行動が必要かを考えさせ、自己のみならず他者の命を大切にすることを意識を深めるきっかけとなった。	ワークシート（授業担当者作成） 動画 「ベビーカレンダー」
26	神奈川県立	高1	保健体育	「応急手当の意義とその基本」	目の前に意識を失った人が倒れていたり、けがで苦しんでいる人がいたりする場合、自分の素早い判断と対応がその人を救うことにつながることを学び、実際の場面に遭遇した時に、どのような行動をとればよいのかを考える機会とした。実際に胸骨圧迫や人工呼吸を行うことで心肺蘇生の手順やポイントを学ぶ。	教科書・PowerPointを教材として使用
27	神奈川県立	高2	保健体育	人工妊娠中絶についての考え方について	保健の授業における、人工妊娠中絶について、避妊法などと併せて学ぶ。その上で、人工妊娠中絶が禁止されている国や地域があることに触れ、人の命について考えさせる。胎児の命と母親の命、経済的な事情や年齢的・身体的な理由で認める賛成と反対の理由を挙げたうえで、それぞれの立場や環境からの意見を聞くことができた。	大修館書店 現代高等保健体育

28	神奈川県立	高1	保健体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>○事故の現状と発生要因</li> <li>○交通事故防止の取り組み</li> <li>○安全な社会の形成</li> <li>○応急手当の義と救急医療体制</li> <li>○心肺蘇生法</li> <li>○日常的な応急手当</li> </ul>	<p>保健の授業の中で、交通事故の現状と要因について学び、交通事故死は10～20歳代が非常に多いことを理解し、交通事故の起こる要因について生徒一人ひとりが考えることができた。</p> <p>交通事故の現状を把握したうえで、応急手当と心肺蘇生法について学んだ。実技講習も感染防止対策を講じた上で短い時間ではあるが、今後、体験する予定である。トレーニング用のAEDを使って説明し、躊躇せずに心肺蘇生法の実施をすることが大切であることを理解した。</p>	<p>保健体育科の教員 保健の教科書 トレーニング用AEDとダミー人形を活用して説明し、実践予定。</p>
29	神奈川県立	高2	保健体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>○妊娠・出産と健康</li> <li>○人工妊娠中絶</li> </ul>	<p>保健の授業でパワーポイントを活用し、受精については、実際の映像を見せるなどして、新しい生命が誕生する奇跡を学んだ。生命が誕生するまでに、妊娠・出産期を健康に過ごすために知っておかなければならないこと、妊娠中や出産後の女性は体調の変化や子育てへの不安などがあるため、パートナーの支援が大切であることを理解した。</p> <p>人工妊娠中絶や不妊問題についてもふれ、特別な事情がある場合を除いては、新しい命の芽を摘むような行為をしないために、避妊についても考え、学ぶことができた。</p>	<p>保健体育科の教員 保健の教科書 パワーポイント</p>
30	神奈川県立	高2	保健体育	避妊法と人工妊娠中絶（いまの自分・もしくはパートナーの妊娠がわかったらどうする？）	<p>避妊法と人工妊娠中絶の授業を行った。映像資料を使って、中学生同士の男女の間に妊娠が発覚した場合のそれぞれの体の変化や気持ち、新しく生まれてくる命について考えさせた。いまの自分・もしくはパートナーの妊娠がわかったらどうするかを考えさせた。経済的に育てられない、サポートをしてもらいながら育てるなど様々な意見があった。自分のこととして考え、真剣に取り組んでいた。</p>	<p>教科書（最新高等保健体育） 映像資料</p>
31	神奈川県立	高2	保健体育	妊娠・出産と健康	<p>保健の授業において、「妊娠・出産と健康」についての内容を学習した。受精・妊娠・出産の一連の過程を理解し、胎児や母親の心身の健康問題、予防や健康のための支援について理解させるという目標の中で、自殺の問題について取り上げ、ワークシートを通じて、生命の尊さについて考察させることができた。</p>	
32	神奈川県立	高2	保健体育	妊娠・出産と健康	<p>本校保健授業の一環として、新しい生命が誕生する受精・妊娠・出産という一連の過程について取り扱った。妊娠・出産期の健康のためには、母体の健康状態に配慮しつつ、公的サービスを有効に活用することが大切である。生徒はもし自分やパートナーが妊娠したらどのようなことに気をつける必要があるのかを考え、意見を共有していた。</p>	<p>現代高等保健体育改訂版（大修館）</p>
33	神奈川県立	高1	保健体育	心肺蘇生法	<p>1学年保健の授業において、心肺蘇生法について学習した。心肺蘇生法に対する理解を深め、現場に必要な知識と技能を正しく習得することを目的として、65分授業2回で講義と実技演習を実施した。緊急時に人命を守るための行動について理解を深めた。</p>	<p>本校保健体育科教諭による授業</p>
34	神奈川県立	高2	保健体育	家族計画と人工妊娠中絶	<p>ライフステージ、ライフプラン学習をすることで自分自身の人生を設計し、将来の自分を想像した。家族計画の中で避妊法と人工妊娠中絶について知識を得、それらには経済的な要因があったり、母体の健康面への配慮が必要なことを学習した。その後、中絶事例をもとにグループ発表やディベートを実施して命の重さと命とは何かについて考えた。</p>	

35	神奈川県立	高1	保健体育	応急手当の意義とその基本 (心肺蘇生法)	応急手当の意義について理解し、緊急時に適切な処置を自ら進んで実行できる態度を養うことを目的としている。事前に応急手当の意義と基本について、DVD視聴による学習によって理解を深め、その後実際に現場で働いている消防署の方によるオンライン実技指導の実践を通して、生徒は日常的な応急手当や心肺蘇生法、AED（自動体外式除細動器）の使用手順について学び、適切な対応がおこなえる技能を習得した。	講師：大船消防署職員 教材：新高等保健体育 (大修館)
36	神奈川県立	高2	保健体育	妊娠・出産と健康	受精から妊娠、出産まで母体ではどんなことが起き、どのような経過をたどるかを理解する。	2年、教科書 (現代高等保健体育 改訂版)
37	神奈川県立	高2	保健体育	家族計画と人工 妊娠中絶	予期せぬ妊娠、出産は、親にとっても生まれてくる子どもにとっても大きな負担となる可能性があることを理解する。妊娠を望まない時に取るべき行動について理解する。	2年、教科書 (現代高等保健体育 改訂版)
38	神奈川県立	高2	保健体育	妊娠・出産と人工 妊娠中絶	妊娠・出産、人工妊娠中絶について学習した。 妊娠や人工妊娠中絶は女性だけではなく、パートナーとの共通の問題であることを意識させ、性行動について深く考えるきっかけとなった。 不妊症や代理出産についても触れ、命の誕生の重さを実感した生徒が多かった。	
39	神奈川県立	高2	保健体育	妊娠・出産と健康 家族計画と人工 妊娠中絶	2年生の保健の授業においてパワーポイントを活用し、妊娠中の母体の変化、胎児の成長の過程を学び、生命の誕生についての考えを深めた。自分がどのように誕生し成長したのかを知ることで、自分を大切に思う気持ちや命の大切さを感じる機会となった。また、家族計画の必要性について考える中で、避妊についての知識を学び、人工妊娠中絶が女性の心と体に与える影響などを考えることができた。	教科書：新高等保健体育 (大修館書籍)
40	神奈川県立	高1	保健体育	ストレスへの対処	近年コロナ禍によって自宅で過ごすことを強いられた結果、仕事や人間関係によって生まれたストレスへの対処が困難となり、自殺する割合が増加傾向にある。ストレス原因を考え、それらのコントロールする方法についてグループワーク等で考え、発表した。	現代高等保健体育 17 ストレスへの対処
41	神奈川県立	高2	保健体育	「妊娠・出産と健康」 「家族計画と人工妊娠中絶」	保健の授業のなかで、妊娠・出産による生命が誕生する過程を授業内で扱った。生命が誕生することの意味を考えさせる機会となり、決して他人事と考えるのではなく、男女それぞれの立場から考えることのできる機会となった。 また、家族計画を実際に考えさせることで自分自身がどのように生活していかなければならないのか、生命を守る立場として行動していくかを考えられている生徒が多くいた。	現代高等保健体育 (大修館)

42	神奈川県立	高1	保健体育	思春期のころ	疾病構造や社会の変化に対応して健康を保持増進するためには個人の行動選択やそれを支える社会環境づくりなどが大切である自ら心と体の健康を適切に管理し、何か問題を抱え一人で解決が難しい場合は、一人で抱え込まず、誰かに相談することと、様々な相談場所があることを提示し、自殺防止に繋げた。	教材：保健の教科書
43	神奈川県立	高1	保健体育	応急手当	「安全な社会生活」の1単元。応急手当の意義と基本。手順、心肺蘇生法、日常的な応急手当等を学習し、中でも心肺蘇生法ではダミー・講習用AEDを使用し、実際に胸骨圧迫を体験した。	教科書・ダミー・講習用AED
44	神奈川県立	高1	保健体育	事故の現状と発生要因	事故の現状と発生要因について、実際の事故を例に挙げグループでの話し合いを行った。話し合いの中で事故の発生要因は多岐にわたることともに、日常生活の中で常に事故予防を意識した行動選択が必要であることに気付いた。本校は自転車通学の生徒も多く、学校の周りの交差点など、身近な場所を題材に挙げるにより実生活に活かすことのできる授業を実践した。	
45	神奈川県立	高2	保健体育	妊娠・出産体験記	2学年保健分野では身体や心の成熟とともに、妊娠や出産について扱うが、このような内容は教科書通りに起こることではなくさまざまなドキュメントが起こっている。そこで、妊娠・出産・育児に関して、自分自身に起こりえること、また、周囲の妊婦とその家族に対するイメージを理解し、考えた行動を取ることができるように今回の取り組みを行った。具体的には、本校教員でこの数年で妊娠・出産し復職した女性教員と、家族が増えた男性教員をゲストティーチャーとして招き、妊娠前（家族計画）～出産後の心や身体の変化や様子、家族のあり方などの話を聞いた。生徒たちは、終始話に聞き入り、質問することや、振り返りシートには、今後の自分についてや、親への感謝が多く記されていた。	講師は本校職員
46	神奈川県立	高1	保健体育	安全な社会生活「事故の現状と発生要因」「交通事故防止の取り組み」	二輪車や自動車を引き起こす交通事故は、一瞬にして人の命を奪ってしまうことがあり、それは被害者・加害者本人はもちろん、双方の家族や関わる人々にとって大変不幸なことである。交通事故の刑事上・民事上・行政上の責任と補償について調べ学習や話し合いなどを行い、どちらの立場からも考えることで、交通事故を決して起こさないという態度と行動の重要性を学ぶことができた。また、自他の生命を尊重する態度を大切にし、交通ルールの遵守やそのための生活習慣、通学時の行動の見直しにもつながった。	保健体育教科書
47	神奈川県立	高2	保健体育	思春期と健康	思春期において、自身の健康を保持していくことの重要性を資料を用いて学習した。また、妊娠・出産に加えて避妊法に関する知識を身に付けることによって性への関心・欲求にどのように向き合っていくかを意見交換しながら考えさせた。	大修館書店「最新保健ノート」

48	神奈川県立	高1	保健体育	成人病と健康習慣について	「がんの原因と予防、治療と回復、」の単元の中で、がんについて考えた。普段の生活習慣からがんや、心臓病を発病し死に至ることを学んだ。生徒は、若いころからの生活習慣が年をとってからも大きく影響することを学び、自分自身の健康習慣について考える時間となった。また、将来に向けて今から生活習慣を改善していきたいとワークシートに記入する生徒もいた。	教科書
49	神奈川県立	高2	保健体育	「妊娠・出産と健康」 「家族計画と人工妊娠中絶」	新しい命が誕生する受精、妊娠、出産という一連の過程は、特に健康に対して注意しなければならない時期であり、本人や周囲が身体に起きている変化を理解し、配慮すべき事項を考える必要がある。人工妊娠中絶についても学び、望まない妊娠を防ぐためにも家族計画の重要性について学んだ。映像資料等も活用し、より身近な問題であるという自覚をもたせた。	現代高等学校保健体育(改訂版) コウノトリ(映像資料)
50	神奈川県立	高2	保健体育	家族計画と人工妊娠中絶	人工妊娠や出産ならびに中絶について授業の題材に取り入れた。その際、いのちの大切さについて考えさせた。	教科書・副教材
51	神奈川県立	高1	保健体育	「心肺蘇生法」 「応急手当の意義とその基本」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・心肺蘇生法の意義と原理(胸骨圧迫、気道確保と人工呼吸)</li> <li>・AEDの使い方(デモ機を使って実技を実施)</li> <li>・けがの応急手当</li> <li>・熱中症の応急手当</li> </ul>	保健体育教科書
52	神奈川県立	高2	保健体育	妊娠・出産と健康	新しい命が母体で育ち、誕生するという一連の過程で、命とは、何億分の一の確率でこの世に生まれてきた奇跡的で尊いもの。という命の大切さや尊さを学習し、出産において母親が命がけで出産に臨んでいるということを学習させる。 何気なく生活している中で、両親に望まれてこの世に生まれてきたこと。そして、この先、自分が命を繋いでいくんだということを考えた生徒がいた。また、自分と他社の命を大切にしなければならないと理解した生徒も多くいた。	講師：厚木商業教諭 教材等：教科書、ワークシート
53	神奈川県立	高複合	保健体育	避妊法と妊娠中絶法	妊娠出産と避妊と中絶を学ぶことで子どものいのちについて考えさせた。	担当は保健体育科、保健b担当教諭。対象年次は2、3、4年次生。 教科書・現代高等保健体育(大修館)
54	神奈川県立	高2	保健体育	安全な社会生活 心肺蘇生法	現在、死因順位でも不慮の事故は多い傾向にある。事故によるけがや急病の際に、その場に居合わせた人がおこなう緊急の手当はすぐに行うことで命を救う可能性を高めることを学んだ。 応急手当の手順と心肺蘇生法やAEDの使用を実習形式で行い、急病者を救うための知識と技能を学んだ。この実習では傷病者発見からAEDによる除細動まで行った。実際、事故に遭遇した際に応急手当ができるか不安に感じている生徒も多く見られたが、必要性については理解した様子であった。	AED(訓練用)と訓練用人形を用いて実施した。実習形式で行うことで、具体的なイメージを持つことができた。

55	神奈川県立	高1	保健体育	薬物乱用と健康	薬物乱用による依存の形成と悪影響から、家庭生活や社会生活を送ることが困難であり、たった一度の使用から自殺まで陥ってしまう事に関連して、命の尊さを考えさせた。	教材：教科書と授業プリント DVD：Trap～罠～ 製作・著作：警視庁
56	神奈川県立	高1	保健体育	熱中症の応急手当	夏休み期間に入る前、熱中症にならないための予防法と熱中症が疑われるときの応急手当について授業をおこなった。近年夏の時期の気温が高く、熱中症に関する事故のニュースが多く報道されていることもあり、生徒の関心も高いように感じた。	現代高等保健体育 改訂版（大修館書店）
57	神奈川県立	高2	保健体育	生涯を通じる健康「加齢と健康」	車いすを用いた介護体験や、白杖を用いた視覚障がい者体験を通じて、いのちの尊さや障がい者・高齢者への配慮について授業を行った。 振り返りシートでは、「目が見えないのは大変なことだと気づいたので、助けられることがあれば助けてい」などの記述があり、生徒にとってもよい体験となった。	海老名市社会福祉協議会より車いすや白杖を借用した。
58	神奈川県立	高1	保健体育	「薬」を学ぶ	保健の授業において、身近な家庭薬の効能と副反応を生徒に調べさせ、授業内で発表させた。さらに、過去の薬害や違法薬物の存在にも触れ、薬剤が心身に及ぼす影響や社会的な問題を考える機会とした。生徒は「薬」の功罪を知識に入れて、身近な薬でも取り扱いに十分な注意が必要であることを学んでいた。	本校保健体育科教員。 保健教科書
59	神奈川県立	高1	保健体育	交通安全	綾瀬高校の生徒は自転車で通学している者が多い。近隣には小学校もあるため、交通ルールやマナーについて意識するように促すことを意識して授業を行った。交通事故を起こさないために必要なことについての話し合いを行ったところ、自動車のシートベルトの着用について、ほとんどの生徒が重要だととらえていた。しかし、後部座席でも必ず着用しているという生徒は少なかった。そこで、シートベルト非着用時の事故の実験映像を見せたところ、シートベルト非着用者が大きく投げ出されるという事実には驚いていた。その後は、今後はしっかりとシートベルトを着用しようとする生徒が増えたようであった。	講師は本校教員（参考資料） YouTube JAF Channle 「後席シートベルト非着用時の危険性」
60	神奈川県立	高2	保健体育	妊娠・出産と健康	生命誕生する受精・妊娠・出産の一連の過程を理解し、生命の大切さについて学習するとともに、母体の役割や母子保健サービスについても保健体育ノートを活用し確認した。	大修館書店「最新高等学校保健体育」「最新高等学校保健体育ノート」
61	神奈川県立	高1	保健体育	心肺蘇生法	教室での講義及び、武道場にてダミーやAEDトレーナーを活用した実習をおこなった。 災害時や大事故の際に、それぞれができることを考えられるよう単なる知識だけでなく、体を動かして実習することで、できることの可能性を広げた。	講師：保体科教員 教材：教科書 ダミー AEDトレーナー

62	神奈川県立	高2	保健体育	社会生活と健康 「環境汚染を防ぐ取り組み」	<p>環境汚染に対する問題はこれまで以上に深刻化し、近年では「SDGs」という言葉を耳にすることも多く、環境汚染は生徒たちにとって身近な地球規模の課題となっている。授業では、環境汚染を具体的な「気候変動の対策」などに関連づけて実施した。動画による導入を通じ「自分たちに何ができるか」をグループ内で討論した。その結果をJamboardで発表し理解を深めた。授業後の感想では、「近くのことからコツコツと自分たちにできることをしていきたい」といった感想などの声が多かった。</p>	<p>講師は、本校の保健体育科教諭 (参考資料・ツール) ・最新高等保健体育改訂版(大修館書店) ・Google Jamboard(グループの発表) ・STEAMライブラリー(導入時の動画使用)</p>
63	神奈川県立	高2	保健体育	「妊娠、出産と健康」 「家族計画と人工妊娠中絶」	<p>妊娠や人工妊娠中絶については、女性だけの問題ではなく、男女問わずお互いの問題であること、また、望まない妊娠による、人工妊娠中絶は新しい命の芽をつむということを学習させた。 人工妊娠中絶の体験が述べられた手記を黙読させ、感想文を書かせた。 この単元は、全ての生徒が中学校でも学習した内容ではあったが、高校生の心身の変化と照らし合わせ、深く考えることができた様子であった。</p>	<p>大修館書店「現代高等保健体育改訂版」</p>
64	神奈川県立	高2	保健体育	妊娠・出産と健康	<p>妊娠の成立について排卵から受精、着床の流れを教科書とDVD動画を利用して説明した。さらに胎児が母体内で成長し、出産するまでの過程を映像で説明をしながら、母体に起こる身体の変化について理解を深めた。将来、子供を産み育てる立場になった時に、パートナーや子供の心身をどのように支えていくかを考えることができた。</p>	<p>講師は保健体育科の教諭</p>
65	神奈川県立	高1	保健体育	心肺蘇生法	<p>心肺蘇生法についての授業をおこなった。傷病者を発見してから救急隊が到着するまでにおこなうことについて授業をおこなった。救急隊が到着するまでに、一般人が適切な応急手当を実施することが傷病者の救命につながることを伝え、救命に対する意識を高めた。</p>	<p>現代高等保健体育改訂版(大修館書店)</p>